

茨 市 議 第 1 9 号

平成 2 3 年 3 月 1 日

内閣総理大臣 菅 直 人 様

総務大臣 片 山 善 博 様

衆議院議長 横 路 孝 弘 様

茨城県市議会議長会会長

水戸市議会議長 袴 塚 孝 雄

衆議院議員選挙における選挙制度の見直しを求める要望決議について

茨城県市議会議長会におきまして、平成 2 3 年 1 月 2 0 日に開催した定例会
において、標記要望を採択しましたので、特段の措置を講じられますよう要望
いたします。

衆議院議員選挙における選挙制度の見直しを求める要望

衆議院議員選挙は、平成6年の公職選挙法改正以降、小選挙区比例代表並立制で実施されている。

政策本位、政党本位の選挙ができる、政権交代の可能性が高まり常に緊張感ある政治が行われるとして導入された小選挙区制であるが、むしろ国民の政治不信、無関心は高まっていると言われている。

そもそも小選挙区制は、当選者以外に投じられた民意が議席に反映されないこと、候補者が少なく有権者にとっての選択肢が少ないこと、選挙区が狭く議員と住民が密接になることから、地域課題の解決に没頭し国家的課題に取り組む議員が少なくなること、与野党とも選挙対策として大衆迎合的施策に走りやすいことなど、多くの問題を抱えており、それらが制度導入後5回の選挙を経て顕在化してきている。

よって、国はこうした状況を真摯に受け止め、小選挙区比例代表並立制を廃止し、政党や候補者個人の適正な評価が行われる選挙を確立するため、中選挙区制の復活も視野に入れた選挙制度の見直しを行うよう強く要望する。

以上、決議する。

平成23年1月20日

茨城県市議会議長会